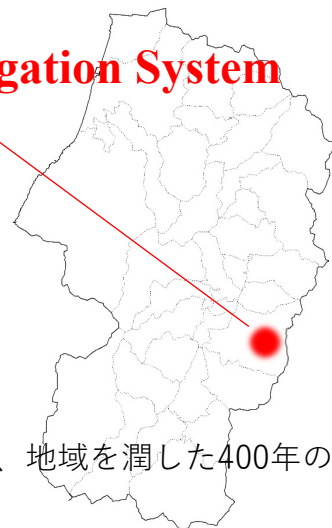


世界かんがい施設遺産

やまがたごせき 山形五堰

[山形県・山形市]

Yamagata-goseki Irrigation System



山形市街地の発展と農業生産を支え、地域を潤した400年の歴史



中心市街地商店街を流れる山形五堰（現在）

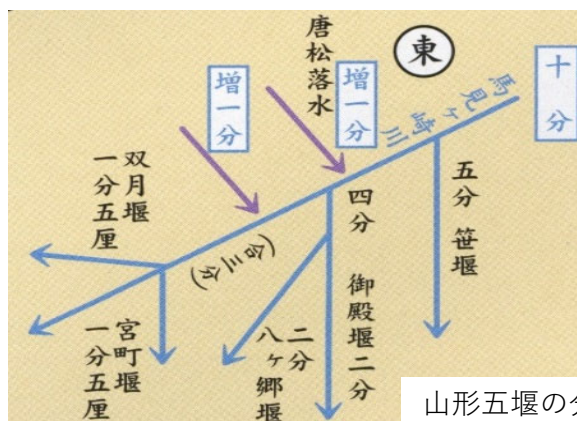


昔ながらの石積水路と水車（現在）

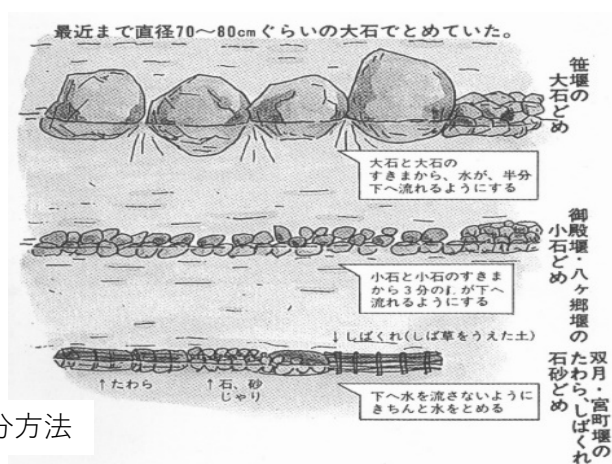
■山形市街地は馬見ヶ崎川扇状地の上に発達した街であり、山形五堰はその扇頂部から取水したのち、枝分かれを繰り返しながら市街地を流下している。かつては生活・産業用水としても利用されながら約2,400haの水田を潤してきた。現在も、農業用水のほか市街地の景観形成にも活かされる等、山形市の街並みの特徴の一つとなっている。

■水源となる馬見ヶ崎川は、流域面積が狭く、また、山形盆地は雨量が比較的少ない気候のため、水量は安定せず、慢性的な水不足に悩まされてきた。

■水不足を補うため、限られた水量を効率的に配分するための工夫がいくつもあった。これらは、先人たちが永年繰り返してきた水争いの中で生み出した慣行であり、山形五堰がいかに重要なものであったかを示している。



山形五堰の分水率（馬見ヶ崎川）



山形五堰の配分方法